

農村と都市の交流を図る公園～稚内市沼川みのり公園をご紹介します！

近年、「グリーン・ツーリズム」に関心が高まっています。グリーン・ツーリズムとは、「農山漁村において自然や文化、そこに暮らす人達との交流を楽しみながら、ゆっくりと休暇を過ごす滞在型の余暇活動」のことです。農村では、ファームイン(農家民宿)、ファーム(農家)レストラン、農畜産物の加工施設や直売所、農村の体験施設、市民農園などを開設し、農業の諸活動を通じて都市住民と様々な交流をする活動が広がってきています。ここでは、宗谷管内で実際に取組みが行われている場所の1つである稚内市の沼川みのり公園の様子・印象等をご紹介します。同公園には、市民農園や農畜産物の調理実習施設などがあります。(* 市民農園～街に住む人達が週末などを利用して野菜づくりを楽しんだり、小中学生の学習の一環として農作業を体験する農場のことです。)



①海に面した稚内市街地から車で約30分南下した内陸地に沼川があります。四方を山や牧草地に囲まれている酪農中心の町です。公園のイベント広場では、夏に「ぬまかわ酪農祭り」も開かれています。



②公園内にある市民農園『ふれあい農園』の様子。約1.7haの広さがあります。稚内市役所のHPによると、5月から10月まで、1区画(30㎡)につき3千円で希望者に貸し出しています。この区画では「キャベツ」を育てていました。



③利用者は借りた区画の中に好きな野菜や花を植え、育てることができるそうです。開園日には、野菜の苗・花の苗の育て方講習会も実施されているようです。この区画では、真っ赤なトマトがたわわに育っていました。



④利用者は沼川在住の方だけでなく、稚内市街地から週末だけここに来て、野菜作りを楽しんでいる方もいらっしゃることでしょ。写真は長ねぎです。



⑤鳥や鹿の食害を避けるためと思われる防獣ネットやビニール製の案山子(かかし)を配置している区画もありました。



⑥すでに畑から収穫され、休憩施設に保管されていた「かぼちゃ」。店頭にも並べてもおかしくない程、立派な出来映えのかぼちゃでした。



⑦畑仕事に疲れた時にひと休みする休憩施設。ここで顔を合わす農業愛好者同士の会話もきつとはずむことでしょう。「農作業」だけではなく、「人との交流」も大きな魅力なのではないでしょうか。



⑧休憩施設の横には、丸太を切り、作製されたベンチが置かれています。ナチュラルな風合いの施設群に触れ、やすらぎを感じます。



⑨公園内の総合管理施設。中には農畜産物加工が出来る調理実習室があり、バターやアイスクリーム、ソーセージなどの手作り体験も出来るそうです。農作業や調理実習を通じ、一般の方が農業への理解を深められる公園であるとの印象を受けました。